

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-162221

(P2005-162221A)

(43) 公開日 平成17年6月23日(2005.6.23)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 5 D 83/08

B 6 5 D 81/26

F I

B 6 5 D 83/08

B 6 5 D 81/26

G

N

テーマコード (参考)

3 E 0 1 4

3 E 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2003-399923 (P2003-399923)

(22) 出願日 平成15年11月28日 (2003.11.28)

(71) 出願人 000006909

株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6号

(74) 代理人 100068157

弁理士 今岡 良夫

(74) 代理人 100113169

弁理士 今岡 憲

(72) 発明者 當麻 徹

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉
野工業所内

(72) 発明者 岸 隆生

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉
野工業所内

Fターム(参考) 3E014 MC07

最終頁に続く

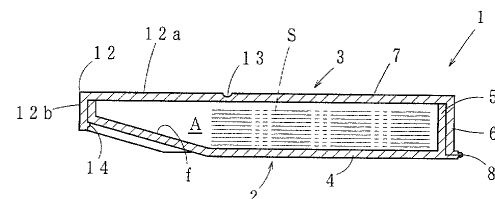
(54) 【発明の名称】 シート状物収納ケース

(57) 【要約】

【課題】乾燥したガム等のシート状の食品等を積み重ね収納し、また、一枚ずつ取り出して使用するためのケースであって、取り扱い易く、また収納したシート状物の取り出しが容易で、しかも合成樹脂の一体成形が可能で安価に製造できる優れたシート状物収納ケースを提案する。

【解決手段】皿状のケース本体2に、その上端開口を閉塞して外周に周壁6を嵌合させた伏皿状のカバー3を開閉可能に連結し、内部にシート状物Sを積み重ね収納する収納室Aを形成したケースであって、カバー周壁6前部下縁より頂壁7に至る一部を開閉蓋12として開閉可能に画成した。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

皿状のケース本体 2 と、該ケース本体 2 の周壁 5 後部下端に周壁 6 後部下端を回動可能に連結するとともに、ケース本体 2 の上端開口を閉塞してその外周に周壁 6 を嵌合させた伏皿状のカバー 3 とからなり、内部にシート状物 s を積み重ね収納する収納室 A を形成するとともに、上記カバー周壁 6 前部下縁より頂壁 7 に至る一部を開閉蓋 12 として開閉可能に画成してなることを特徴とするシート状物収納ケース。

【請求項 2】

上記ケース本体 2 から上記カバー 3 を開いた状態で且つ上記開閉蓋 12 を上記カバー 3 より開いた状態で合成樹脂により一体に形成してなる請求項 1 記載のシート状物収納ケース 10

【請求項 3】

上記ケース本体 2 又は上記カバー 3 のいずれか一方に乾燥材を収納するための上記収納室 A と連通した凹部 15 を形成してなる請求項 1 又は請求項 2 のいずれかに記載のシート状物収納ケース。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明はシート状物収納ケースに関し、詳しくは、ガム等のシート状の食品の収納及び取り出しに適したシート状物収納ケースに関する。 20

【背景技術】

【0002】

シート状物を収納し、取り出し可能に構成した包装具が提案されている。（例えば、特許文献 1 参照）。

【0003】

ここに示されている包装具は、内部にシート材を収納する外装シート上面の一部に、シート材を引き出すための取り出し口を形成し、この取り出し口を被覆する開閉蓋を感圧接着剤を介して外装シート上面の外側面に貼着した携帯用シート材包装具であって、外装シート上面の内側面に当接する第 1 面と外装シート内に収納されたシート材の最上面に当接する第 2 面とを、シート材の厚さ方向について所定の間隔を設けて互いに並行に配置し、 30 第 2 面に外装シートの取り出し口に対向する孔部を形成したスペーサを設けている。

【0004】

この包装具は液体を含浸又は塗布した湿潤なシート材を収納するためのもので、シート材に含浸或いは塗布された液体が感圧接着材を濡らして接着不良起こす等を防止でき、良好な密閉性を維持できるものである。

【特許文献 1】特開 2003-312757 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明では上記した如き湿潤なシートではなく、乾燥した例えばガム、海苔等のシート状の食品或いは紙石鰯等を積み重ねて収納し、また、一枚ずつ取り出して使用するためのケースであって、取り扱い易く、また、収納したシート状物の取り出しが行い易く、しかも合成樹脂による一体成形が可能であるため安価に製造できる優れたシート状物収納ケースを提案するものである。 40

【課題を解決するための手段】

【0006】

本請求項 1 発明は、上記課題を解決するため、皿状のケース本体 2 と、該ケース本体 2 の周壁 5 後部下端に周壁 6 後部下端を回動可能に連結するとともに、ケース本体 2 の上端開口を閉塞してその外周に周壁 6 を嵌合させた伏皿状のカバー 3 とからなり、内部にシート状物 s を積み重ね収納する収納室 A を形成するとともに、上記カバー周壁 6 前部下縁よ 50

り頂壁 7 に至る一部を開閉蓋 12 として開閉可能に画成してなることを特徴とするシート状物収納ケースとして構成した。

【0007】

本請求項 2 発明は、上記ケース本体 2 から上記カバー 3 を開いた状態で且つ上記開閉蓋 12 を上記カバー 3 より開いた状態で合成樹脂により一体に形成してなる請求項 1 記載のシート状物収納ケースとして構成した。

【0008】

本請求項 3 発明は、上記ケース本体 2 又は上記カバー 3 のいずれか一方に乾燥材を収納するための上記収納室 A と連通した凹部 15 を形成してなる請求項 1 又は請求項 2 のいずれかに記載のシート状物収納ケースとして構成した。

10

【発明の効果】

【0009】

本発明のシート状物収納ケースは、皿状のケース本体 2 と、該ケース本体 2 の周壁 5 後部下端に周壁 6 後部下端を回動可能に連結するとともに、ケース本体 2 の上端開口を閉塞してその外周に周壁 6 を嵌合させた伏皿状のカバー 3 とからなり、内部にシート状物 s を積み重ね収納する収納室 A を形成するとともに、上記カバー周壁 6 前部下縁より頂壁 7 に至る一部を開閉蓋 12 として開閉可能に画成しているため、収納ケース 1 を開閉蓋 12 側に傾けることによって収納したシート状物 s を開閉蓋 12 をあけて開口した取出口 11 より一枚ずつ容易に取り出すことができるものである。

【0010】

20

また、上記ケース本体 2 から上記カバー 3 を開いた状態で且つ上記開閉蓋 12 を上記カバー 3 より開いた状態で合成樹脂により一体に形成してなるものにおいては、安価に製造できるとともに、その組み立て後の各部相互の嵌合精度も充分高いものが得られる。

【0011】

また、上記ケース本体 2 又は上記カバー 3 のいずれか一方に乾燥材を収納するための上記収納室 A と連通した凹部 15 を形成してなるものにおいては、収納物の品質を長期の間良好な状態で維持できるものである。

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

図 1 は本発明のシート状物収納ケース 1 の一例を示すもので、該収納ケース 1 は、ケース本体 2 と、カバー 3 とを備えている。

30

【0013】

上記ケース本体 2 は、底壁 4 周縁部より周壁 5 を立設した皿状をなしている。また、底壁 4 はその前端部に於いてその上面が後方へ下る取出用の誘導面 f に形成している。この誘導面 f は一般的な傾斜面の他、湾曲面であっても良い。

【0014】

カバー 3 は、周壁 6 上端縁より頂壁 7 を延設した伏皿状をなし、ケース本体周壁 5 の後部下端に周壁 6 後部下端をヒンジ 8 を介して連結するとともに、ケース本体上端開口を閉塞してその外周に周壁 6 を抜け出しを防止して嵌合している。図示例では、ケース本体周壁 5 両側に突設した係止突条 9 に、周壁 6 の両側内面に突設した係合突条 10 を乗り越え係合させてケース本体 2 に対する確実な固定と抜け出しの防止を図っている。そして、内部にシート状物 s を積み重ね収納する収納室 A を形成している。

40

【0015】

また、上記カバーには開閉蓋を画成している。具体的には、カバー 3 に取出口 11 を開口し、この取出口 11 を閉塞して開閉可能に画成した開閉蓋 12 を設けている。取出口 11 は、周壁 6 前部下縁より頂壁 7 に至る一部に設けたもので、この取出口 11 の形状は特に限定されるものではないが、少なくともその横幅が収納するシート状物 s を通過可能な横幅に形成する。従って、周壁 6 前部下縁より頂壁 7 に至る部分に取出口 11 が穿設され、その部分に嵌合する取出口 11 と同形状の開閉蓋 12 をヒンジ 13 を介してカバー頂壁 7 に連結している。また、開閉蓋 12 は、頂壁 7 の取出口 11 部分に嵌合する頂板部 12a と、周壁 6 の取出口 11 部

50

分に嵌合する垂板部12bで構成しており、垂板部12bの内面下端縁にはケース本体2の前面下縁に係合する係合突起14を突設している。

【0016】

上記の如く構成したシート状物収納ケース1は、合成樹脂により一体に形成することができる。例えば、図4に示す如く、ケース本体2とカバー3とを、カバー3を180°開いた状態で、且つ、開閉蓋12をカバー3より90°開いた状態で、それぞれ一体に形成することができる。

【0017】

上記の如く構成したシート状物収納ケース1を使用する場合に付いて説明する。まず、図1の状態から垂板部12b下面を指で押し上げて開閉蓋12を開き、次いで、ケース1を取
10 出口11側に傾けて収納したシート状物sを取出口11側に移行させる。この際、最上部のシート状物sが一番取出口11側に移行しており、簡単に取り出すことができる。次いで、開閉蓋12を閉じることにより元の状態に戻る。

【0018】

本発明ではまた、上記ケース本体2又は上記カバー3のいずれか一方に乾燥剤を収納するための上記収納室Aと連通した凹部15を形成しても良い。例えば、図5に示す如く、カバー3の頂壁7を下方に凹ませた凹部15を形成し、該凹部15の底面に収納室A内と連通させる透孔16を穿設する。そして、該凹部15内に乾燥剤を収納し、シール材17等により凹部15外側開口を気密に密閉する。シール材17は合成樹脂シートに接着層を備えた公知のシール材を使用できる。また、図6は上記凹部15をケース本体2に設けた例で、ケース本体2
20 の底壁4を上方へ凹ませて凹部15を形成し、同様に収納室A内と連通させる透孔16を穿設している。この場合も同様にシール材等により外側開口を気密に密閉する。

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図1】本発明シート状物収納ケースの斜視図である。（実施例1）

【図2】本発明シート状物収納ケースの縦断面図である。（実施例1）

【図3】本発明シート状物収納ケースの開蓋状態の斜視図である。（実施例1）

【図4】本発明シート状物収納ケースの成形時の斜視図である。（実施例1）

【図5】本発明シート状物収納ケースの斜視図である。（実施例2）

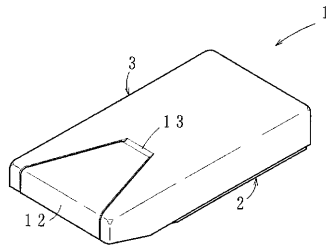
【図6】本発明シート状物収納ケースの成形時の斜視図である。（実施例3）
30

【符号の説明】

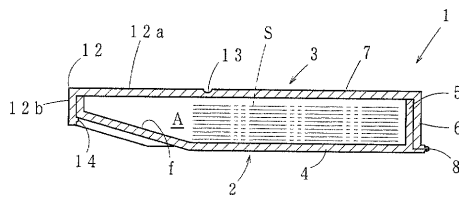
【0020】

2…ケース本体， 3…カバー， 5…ケース本体周壁， 6…カバー周壁， 7…頂壁，
12…開閉蓋， A…収納室， s…シート状物

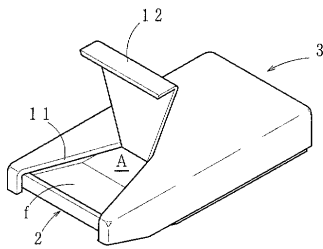
【図 1】



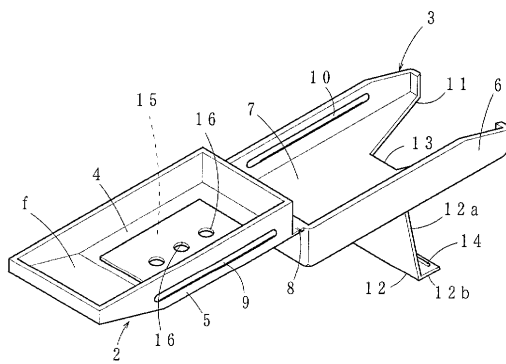
【図 2】



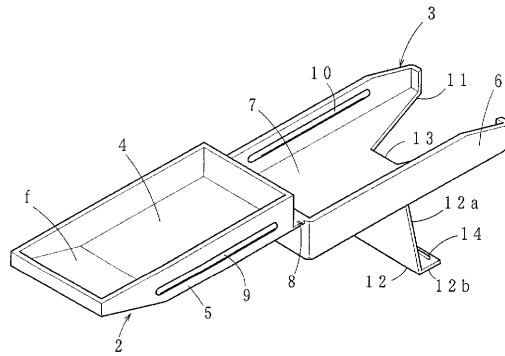
【図 3】



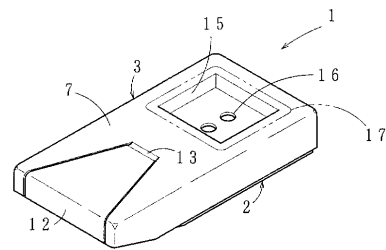
【図 6】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3E067 AA12 AB01 AB81 AC03 AC14 BA02A BB14A EA17 EB22 EE25
EE28 FA01 FC01 GB12 GD01